

## 令和6年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和6年5月11日（土）14時～16時
- 開催場所 天王台北近隣センター
- 参加者 市民7名
- 出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、海老原市民生活部長、山本環境経済部長、篠崎建設部長、中場都市部長、担当課長等18名

### ■懇談要旨

市民：防災減災対策の推進について、我孫子のハザードマップを全面的に更新するという事で期待しています。というのは、我孫子市外から移住してくる方々は、ハザードマップを非常に気にしております。例えば、危険ではないところだったのが、震災などで変わることがあります。

しかし、それを全てハザードマップの中にきめ細かに網羅することは出来ないと思います。ただ、できる限り最新の情報を掲載していただきたいと思います。もう一点は、電子図書館サービスについて記載されておりますが、どのような内容なのか教えていただきたいと思います。

市民生活部長：ハザードマップの見直しについては、今年度予定をしております、実は記憶に新しいところでは、昨年9月20日に我孫子地区で内水被害が多くありました。今まではその部分を一応網羅されておりますけれども、最近の水害は非常に激甚化しております。

そういったところを今の状況に合わせた形で、皆さんにわかりやすくハザードマップを見直していきたいと考えています。また、情報があの1冊でまとめられていますので、見やすい部分と、見づらい部分があります。そういったところも、市民の皆さんがよりわかりやすいようにハザードマップを作り変えていきたいと考えています。

市長：ご質問ありがとうございます。実際に13年前の東日本大震災では、我孫子も液状化で大きな被害がありました。ただ、我孫子で被害があったのは、地震があった午後2時

40分ではなく、その30分後に布佐地区を中心に大きな被害がありました。

今までも、茨城沖地震や東北沖地震で大きな地震がありましたけれども、そのときも布佐地区を中心にほとんど被害がなかったところです。残念ながら東日本大震災は宮城沖で大きな地震があり、30分後にもう一度揺れが来たものですから、3時15分ぐらいに茨城沖地震で、布佐地区を中心に市内で大きな液状化が発生をしました。

ご存知のように布佐の都地区は、我孫子市内の約8割に相当する液状化の被害がありました。この青山台や柴崎台、あるいは湖北台にも液状化被害があったという状況でした。布佐の都地区については、明治3年、大きな田んぼだったところが、昭和20年代までずっと池として水が引かなかったところだったのですが、戦後の宅地開発で利根川の堤防を強化するために、利根川の堤防沿いに住んでいた方に立ち退きをしてもらうために、利根川の川砂で埋めて新たな住宅地を作って、そこに移転してもらった経緯があります。残念ながら当時の政府は、液状化の被害を軽く見ていたと思われま

す。なぜなら、その前まで非常に大きな被害があった新潟の中越地震。そこを基準にした前提で液状化を見ていたところでした。我孫子の被災地認定は、3月11日にあった震災の2週間後にやっと認定がもらえたというところでした。何度も香取市役所に行って、我孫子と浦安と各市の液状化の被害状況を一緒に検討しながら、国交省に基準の見直しをしてもらうなど、いろいろと行ったことをよく覚えています。

そういう状況の中で、何とか今は都地区も元に戻ってきた感じはありますけれども、残念ながら、震災によって不動産屋さんも、土地の値段が決められない。つけられない。売買がほとんど止まっていた状態でしたが、今では何とか売買ができるようになってきたようです。

その後、国交省の見直しは、1,000年に一度ぐらいあるかもしれない地震という想定でチェックを強化しながら、ハザードマップの見直しを適宜行っているという状況です。

今現在も、2年ぐらい前に北新田と茨城の稲戸井の田んぼが、雨水でいっぱいになりました。ここは両方とも利根川の調整機能を持っていますので、この調整池機能をもっと強化するため、茨城側では掘削をしてもっと水をため、北新田では堤防を高くするなどの堤防強化を行うなどの見直しをしています。あわせて周囲堤ですが、利根川本堤からそこに水を溜めて、それで止められるようにということで、堤防が一部低いところがい

いる状況です。八ッ場ダムだけではなくて、今南摩ダムも造っていますけれども、ダムだけではなくて調整機能の強化をしながら、利根川の本流の水害をなくすための工事、あるいは計画を進めているということです。我孫子という街は、利根川と手賀沼に挟まれて、水源はたくさんありますけれども、これは、いざ水害があった場合は、非常に大きな影響がありますから、治水、利水の両面で両方とも平常時の利水と、そして災害時の治水というものを、これからはしっかりと注視をしながら進めていく必要があると考えております。

我孫子は、土地の上昇率が1位になった地域もありますが、金額的には我孫子駅周辺が一番高い状況です。ただ率ですから、まだまだ我孫子駅周辺の土地の価格は低いです。

台風が来ても安心して住み続けられる場所にしていくのは、これからの大切な事業だと思っています。市としても国と連携をしながら、水害のない街にしていかなければなりません。それには、まず床上浸水をなくすこと。次に床下浸水、道路冠水は最後になるという形をとらせていただきますので、ご理解ください。

企画総務部長：電子図書館でございますが、教育委員会の図書館の方で導入をいたします。

私ども企画総務部の方で、6年度の事業ということで、採択をしておりますので、私からお話をさせていただきたいと思っております。

まず、電子図書館サービスですが、市民の皆様インターネット上で読書していただくという大枠のシステムでございます。現状では、電子図書館もいろいろな雑誌であったり、児童書であったりなど、どのような書籍を導入するかということと、やはり予算の枠組み、どのぐらいの人数の方に読んでいただけるか、それからどのぐらいの種類が入られるかというようなところを、今図書館の方で検討を進めているところでございます。

その中で、図書館サービスには、いくつものサービスがございますので、我孫子市にとってより良いものを選択させていただきまして、選定につきましては、秋頃を予定しているところでございますけれども、導入が決まりましたら使用方法につきましては広報、ホームページでしっかりと市民の皆様にお伝えをさせていただき、多くの皆様に使っていただけるよう努めてまいりたいと思っております。情報を公表できるようになるまで、しばらくお時間をいただきまして広く周知をさせていただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

市民：もう一点、質問させていただきます。実施事業の8番、施策推進のための横断的な取り組みの戦略的なシティプロモーションの推進の中で、事業内容としては住宅地としての魅力を発信するため、住み替えナビを拝見したところ、柔らかい感じで市民の方も見やすいと思い、いいなと我々も思いました。大手不動産ポータルサイトを活用した移住PRネットとありますが、具体的にはどのようなものであるのか。EASTということで、市としては東側地区を進めたいということだと思いますが、こういった方が、このポータルサイトを利用し、どのように情報発信していくのか、経緯などを含めて教えていただければと思います。

企画総務部長：まず、住み替えあびこナビをご覧いただき、ありがとうございます。都内の女性が働くオフィスを中心に約12万部配布されているフリーペーパーにも、この住み替えあびこナビの内容を基にした記事を掲載させていただいています。住み替えあびこナビは、我孫子市を知ってもらい、また移住をしていただくような取り組みとして作成をしているものでございまして、今年度も、また少し内容を変えまして引き続き発行する予定であります。ご意見の東側地域というところですが、今は、手賀沼や我孫子の西側地区を中心とした写真や内容となっておりますので、今年度は東側の湖北、新木、布佐地区に特化して、新たに作成する予定でございます。

こちらにつきましても、東側地区を特集したものということで、不動産事業者さんにもご協力いただき、配布させていただきたいと考えております。

それから、不動産ポータルサイトへのWeb広告でございますが、こちらは、大手不動産ポータルサイトに、我孫子市の魅力や地価上昇率などを盛り込むWeb広告を掲載し、市をPRしていくものとなります。我孫子に移住してもらい、定住してもらいというような取り組みで、今年度初めての実施となります。

市長：住み替えあびこナビをスタートして、これを基にしたPR広告をフリーペーパーに掲載して東京方面に配布したところ、都内に住んでいた方が、我孫子に転入してくれるなど、若い夫婦等が増えてくるようになりました。特に都内で借りてた家賃の半分で、

一戸建てのローンが組める。今までの倍以上の敷地の広さが確保でき、通勤時間帯の部分が自分の余暇に充てられ、お父さんの書齋も持てるようになったということで、非常に良い評価をいただいております。その中で議会も含めて、以前から言われたのは成田線沿線も含めて、我孫子の東側地区のPRをもっとしたらどうかという意見がありました。我孫子の人口の約3分の2は、常盤線沿線にお住まいですが、実際にこの我孫子・天王台よりも成田線沿いの方がもっと安い金額で、もっと広い土地が確保できるものです。我孫子・天王台マンションもありますが、成田線沿線は、マンションよりもほとんどが一戸建てで、庭を持ってお子さんを遊ばせたい、犬などのペットも飼いたいという方が、非常に多いという現状を踏まえて、もう少し成田線沿線の魅力をPRしたらどうかという声は以前からあったことです。静かな住環境のPRを踏まえながら住んでくれる方からすると、やっぱり子育てをする環境を最優先で選択する人が結構いらっしゃいますから、そこを前面に出しながら、我孫子への住み替えを東京あるいは茨城方面にPRをしていければと思います。

当然、茨城の方が土地もあり、いろいろなものが安いのですが、我孫子の方は福祉分野など、他市にないものをPRしながら、冊子を作らせていただこうと思っております。市内の不動産屋さん、宅建協会様にもご協力をいただき、ご意見がありましたら、併せて頂戴できればありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

市民：私は、東我孫子の駅のことについて、請願を出しました。そうしましたら、議会で否決されてしまいました。その結果、住民の方たちが大変怒っております。なぜ、あのような危ないところで、あのような形であるのか。市をPRするのであれば、こちらの改善が必要ではないでしょうか。とても危険です。昔、人身事故がありましたけれども、その後も、そこで怪我をした方が何人もいらっしゃって、ご自分の過失という部分もあると思いますが、キャリーカーを運ぶときも、引っかかって落っこちてしまって、鎖骨を折った方もいらっしゃいます。そういう状況の部分を改善しないで、都心に近いから良い所というのではなく、危険な箇所を改善していただきたい。私もここに住んで60年経ちますが、本当に変わらないです。東我孫子駅のホームが長くなるとか、改札も無人、否決された議員さんの言葉では、子供が亡くなったから危ないからといいます。それはもうだいぶ昔のことで、遮断機がつく前の話です。今、遮断機がついてる箇所は、

柵があつてガードされています。あそこの柵をもうちょっと何か工夫したり、あるいは車椅子が通れるようにしてもらいたいです。成田空港に行く人も結構います。

あと、ベビーカーも通れないと住みやすいところですよと言うのは、片手落ちじゃないかと私は思います。長期的に考えて、東我孫子駅を何とかもう少し利用しやすいようにしてほしいです。こういったことを含めて、市長さんには、考えていただきたいですし、計画的に行ってほしいと思いますので、よろしく願いいたします。

建設部長：昨年の議会で2回ほどご質問いただいております。お答えさせていただいた内容は、まずバリアフリーの駅は天王台地区の中では、常磐線、成田線の線は違いますが、天王台駅がございませぬ。東我孫子駅は、今お話がありましたように、昭和62年に小さいお子さんが亡くなったという経緯で、入口のところに柵を設置したのは、我孫子市です。同時にその線路の軌道の中に遮断機をつけたのはJRです。こうしたことから、そこを通るのは難しいだろうと思います。それから、今JRさんの方も駅の乗降客数をいろんな駅で調査されておりますけれども、東我孫子駅につきましては、もう数年前から、その乗降客数の集計も取らなくなりました。要は、バリアフリーをするとなると、橋上駅舎にするような形になりますので、何億、何十億という金額で駅を造らなければなりません。天王台地区ではバリアフリー駅として、天王台駅がございませぬので、そちらの方をお使いいただくしかないというふうに我々は考えております。

市長：成田線の中でも一番新しい駅は、東我孫子駅です。通常では、駅の南北にロータリーがあり、駅には必須となりますが、東我孫子駅前の部分はロータリーではありません。道路です。JRとしては、このエリアのバリアフリーは、天王台駅の完成とともに解決済みという形が基本的な考えです。そういう状況の中で、今言われた所は、駅のホームに入る入口です。ですから、反対側へ渡るという前提で東我孫子駅のホームの西側は出来ていないという状況になります。

実際に駅舎改修は、そこを直そうとするならば、言い出した方となる市が全額負担をしない限り、JRは動きませぬ。現在、東我孫子駅の乗降客数をJRはカウントしなくなったというぐらいに東我孫子駅の利用客が少ないという中で、市としてもここに数十億のお金を投入することは出来ないとというのが現状であります。

天王台駅が出来て、駅の南側だけだったのが、天王台駅北口を整備して、この青山台や柴崎台だけができたという状況の中で、このエリアは東我孫子天王台地区という形でバリアフリーが完成している天王台駅があって、東我孫子駅はまだ廃止はしませんと言っていると理解をしていただかないと、JRとしてもなかなか理解出来ないということです。あくまでも東我孫子駅があったときは、天王台駅の南口を整備されたことによって、東我孫子駅周辺地区の利用者がこの天王台駅周辺に移行してきたという認識をJR側は持っているという理解をしていただかないということです。

ただ、何とか東我孫子駅は閉鎖にはならないように頑張っ、私としては要望活動をするしかないということです。本当に東我孫子駅の改修とプラス南北の入口に、駅前ロータリーを整備するだけの覚悟を持たない限りは、ご要望の形に造る状況にありません。多額の費用が必要となってきますから、これは厳しいことです。議会も、おそらく、JRが乗降客数のカウントをやめた状態の駅に対して、何十億をかけることについての費用対効果を図ったものであろうと、私自身は認識をしています。

市民：私は、ちょっと大きな面を変えていかれないかなってということで、全くの個人的な問題でした。市長が言われたように大変難しいということは分かりました。

しかし、今あの場所で人が出ることを考えたときに、市道が通ってるわけです。それで、知り合いの建築技師の方が言うには、他にやり方はあると言ってました。

現実、電車に乗ろうと思ってる人たちが怪我をしているのです。その後、通るところが高かったんで、そこにブロックみたいなものを入れてくださり、少しは高さが低くなりました。それでも通ろうと思ったら高さがあり怖いんです。そこだけでも、せめて解決出来ないでしょうか。そんなに多くの金をかけず、道路等をちょっと変えて何とかならないでしょうか。階段をスロープにしてしまうと、自転車が通ってしまい駄目だというご意見だったのですけれども、あそこを通ってはいけないのは分かっていますが、駅があって、電車に乗る人は天王台に行けというのは、議会で決まったことではあります、もう少し検討してもらえるのかどうか。それとも議会で決まったら、もう駄目なのか、そのことをちょっとお聞きしたかったのですけれど。

市長：実際にあの場所はJRの持ち物ですから、JRが理解して了解してくれない限り

は、市としていくらお金を出すと言っても、JRの持ち物であることからJRが確実に主導権を持っています。JRが理解をしてくれる方法でないと進みません。JRと定期的に話し合いをしているのですが、検討しましょうというだけです。なかなかその先に進まないというのが現実だと理解をしていただきたい。

皆さんがいろいろな方法を提案してくるのは分かるのですが、それはJRが理解しない限りは、難しいということです。あの場所は千葉支社の管轄ですから、千葉支社がああ施設改修に対して、それを一緒にやってみようと言ってくれない限りは仕方ありません。後は、様々な意見を聞きながら、我々としても我孫子、天王台の場合であればJRの東京支社、成田線については千葉支社ですので、協議をしてどういう方法で解決できるか、市がいくら負担をすればJRは承諾するのか、この二つの解決方法が見つからない限りは、いくら議会であろうと、いくら私のところに陳情を出しても、JR側の決断が取れない限りは、実際は一向に進まないということをご理解ください。あとは、JRとの年に1回程度の意見交換をする場がありますので、その方向性だけは意見交換をさせていただきますが、少なくとも、東我孫子駅西側は、自転車で渡って行く道ではないというのを理解してください。あの場所は、あくまでもホームに上がる人のためです。反対側に渡る際は、ホームの東側の踏切を渡っていただくか、富士見橋を渡ってください。乗降客数のカウントすらやめてしまったようだということ踏まえた中での現状だということをご理解いただければと思います。

市民：先ほどご説明があった北新田の田中調節池の能力強化の件です。越流堤を上流に移設することによって、田中調節池に溜める水を増やすということをご国土交通省さんがお進めになっています。水が多く入るので、堤防を強化しますということを進めていただいています。ただ一方、ちょうど後田堤防のところから後田堤防が切れたところが、下がっています。下がったところは山付部で、場所はパチンコ屋の駐車場のところですが、そこを利根川上流河川事務所の計画課長は何もしない。要は堤防がないところは、堤防の強化とかそういう対象外であると明言しています。

これに対して我孫子市さんは、越流によって浸水が次第に入ってくるリスクが高くなる事業になってしまうので、問題があるということで交渉していただいているのを、11月のふれあい懇談会でご説明いただきました。交渉した結果、国土交通省は、そうい



う規定を除く方向に計画の方針を見直していただけたのかどうか。

国土交通省の資料を見ますと、今まで対象外だったその調査区域の中に、パチンコ屋の駐車場の部分も入って、6年度以降の調査対象にしますというふうに変った気配はあるのですけれども、今のところ実際に低いところが超過洪水になると越流してしまう可能性が非常に高いところは、しっかりと堤防を追加しますという方向性をお考えいただけになったのかどうかをお伺いしたい。

もう一点あります。ハザードマップの改定ですけれども、そもそも内水については、市内の排水施設については、時間50ミリの水に対して対応できるように整備していただいていますということですが、実際に浸水が起こるのは50ミリを超えたようなとき起きているわけです。

例えば、住宅開発で雨水の調整設備も50ミリ対応で作ってるので、50ミリを超えると、もう能力超過して、どんどんたくさんある調整池から雨水管に水が流れ込んで、結局上流から水が来てしまうので、下流の水は、雨水管に流し込めなくなります。

その影響で道路排水ができなくなる。浸水が起こりますというメカニズムになっているわけです。だから、100ミリ対応しますというときに、雨水排水設備は50ミリ対応なので、その余りはどうするのかというところがポイントで、結局、当然冠水はします。冠水したときにどうするのですかというような対応が必要になってきますので、その辺があまり整理されて市民に伝えられていない。50ミリを超えたら冠水する対応しかしてないので、浸水対応を市民がしないといけないのですというところをちゃんと明示しないといけないのではないかと思います。それから家を買う人も当然そういう区域だというのをはっきりして50ミリを超えたら浸水しますというのをはっきりお伝えしないと、入居してからこんなはずではなかったと思う方も出てきてしまうので、ハザードマップにそういうところは、しっかり書き込んでいただきたいと思います。

建設部長：確か11月に個別にお話させていただいたのですけれども、おっしゃるように、国の方では計画高水量よりも高いので、そこは何も整備しませんというお話があったのですけれども、一番脆弱になってしまうところは、そこから水が入ってくるのではないかというご指摘は、我々もそういう認識を持ちましたので、これは国土交通省さんの方にお話をして、これから市長の方から上流河川事務所の所長様宛に要望という形で出す

ところで、この要望を出すというのも相手方も知っております。

市長：今月中に上流事務所の所長へ直談判することになっています。それまでは確定していませんが、私が感じているのは、今その方向で国土交通省さんの上流事務所はその方向に舵を切りつつあると思いますので、結論はもうちょっとお待ちいただきたいと思います。私も職員も含めて、あのパチンコ屋の周りは確かに高さはあるのですけれども、堤防という形になっていないので、民間の駐車場が崩れるという状況が考えられなくはないと思っています。まして、後田樋管が完成したときに近隣の農家からも、あの切れているところは、どうするのかという指摘は受けていたところです。

ただ、今回は柴崎の産業用地のところも堤防のすぐ内側に産業用地が出来ることにより、いわゆるスーパー堤防と同じような機能が確保できるということで、それを前提に、上流事務所と話し合いをしていますので、民地等所有者にご理解いただいて、取得交渉をうまく進めていきたいなというふうに思っていますので、もう少しお時間はいただきたいと思います。ハザードマップについては、ご指摘のように雨水 50 ミリ対応ですけれども、確かに 50 ミリを超えて用意できている市はどこにもありません。時々 100 ミリ対応ができるようにという意見が出ますが、それを全てやり直していくということになります。去年の我孫子 4 丁目に降った雨水量は 95.5 ミリでしたが、私が市長に就任する前の床上浸水件数より、かなり減っているということをご理解いただけたと思います。もうひと踏ん張りだと思っております。やはり、100 ミリ降られますと、どこの市町村もまず対応できる状態ではないという中で、いかにこの床上浸水をなくすかという話では、先ほど言ったように、道路冠水は今、都市部のあちらこちらで舗装してありますから、道路上から水を吸い込むということは不可能です。当然道路は、川のように水がどんどん下流に早く押し出してしまいますから、そこを踏まえるといくつかの水の流れを 1 ヶ所に集中させないような形やあるいは違う経路に水を流せる形をとっていく必要があるだろうという認識をしています。先ほどご説明したように、昨年から今年の 3 月までに 2 ヶ所ほど工事をして少し分散させていますが、まだまだ本格的なものが必要だろうということで、今、治水課の職員がシミュレーションの確認をしているところです。雨量が 50 ミリを超えたら浸水しますとは言えません。実際に 95 ミリの雨量でしたが、その前の段階では、50 ミリを超えてても床上浸水していませんが、ただ、100 ミリに耐えら

れるとも言えません。

そこについても、今回のハザードマップを改定するときは、マップ内の色が以前の場所よりも厳しい色に変わるかもしれません。今まで載っていなかったエリアが載るようになるかもしれません。そういったことも含めて、きちっと精査をしていく必要があると思っています。その上で、排水能力としては50ミリ対応でも様々な手法をとりながら、床上浸水が起きないような、創意工夫が必要だと思っています。我孫子4丁目についても、4丁目の方々が国道6号の下を抜けていく排水管が潰れていたり、機能不全になっているのではという心配については、管の中をマイクロスコープなどで確認したところ、潰れてはいませんでした。また機能も果たしてました。ただ少し土砂が堆積していましたが、排水に大きな影響を与えるほどの土砂ではなく、清掃して全部撤去しましたが、排水に大きな影響を与えるほどの土砂ではなく、清掃して全部撤去しましたが、あとはいくつかの方法で一番低いところに早期に雨水が溜まらないような工夫と、周辺の方々にもご家庭内の敷地に雨水貯留タンクを改めて設置することに協力してもらうなど、こういった対策が必要ではないかと認識をしています。こういったことも含めて、もう一度自治会の方々を中心に説明会をさせていただいて、ご協力をお願いしようと思っています。そうしないと国道6号のさらに下流の並木、つくし野地区の方が非常に心配をしてしまいますから、我孫子4丁目の水害を解消し、下流の地区に迷惑をかけないような対策としては、柴崎地区の排水をきちっと早期に解決しなければなりません。並木地区あるいは泉地区の排水管を揃え、JR線路の下を抜ける管の設置も含めて早期解決していく必要があると思っています。しかし、残念ながら治水工事には非常に莫大な予算がかかるもので、それと慎重な工事が求められます。万が一にも、常磐線の線路を曲げてしまうわけにはいきませんから、非常に慎重に精査等をしていくということをご理解いただいた上で、着実に水害のない強い街になるように、これからも協議を進めてまいります。

市民：すいません、申し上げます。50ミリ超えたときに影響が大きくなるというのは、実は元は34ミリ対応だった。最近になって50ミリになっています。50ミリ超えると当然オーバーフローして、調整されない雨水が流れてきます。宅地開発でどんどん調整池ができたということは、自然の野原であったところが、全部流出係数が倍になってきたということで、昔、水が出なかったところも水が出るようになるという、そういう影響

があるわけなので、そこを影響が拡大しているのだということでハザードマップの影響する範囲も当然広がってきています。そこもしっかり見直しをしていただいて作っていただきたいということです。

それから我孫子 4 丁目ですけれど、実際につくし野川に流すのは国道を超える雨水管というのは、真ん中を通ってくる細いところだけではなくて、幹線をその脇というかイトーヨーカ堂の脇の道の下を幹線が通って、国道をくぐって反対側に出ている。したがって昔からある水路だけではなく、幹線の方に途中から流すのを作って追加してあげることによって、一番低いところへ水が流れ込む量を分散できるという対応をするしか多分ないだろうなというふうに思って、治水課の職員にはお伝えしてありますので、そこをぜひ研究していただいて、解消に向けていただければと思います。新しい水の流れを作ってあげて、本管そのものをいじらなくても大丈夫だと思います。あと、つくし野とその先の並木地区のお話をされていましたが、合流するから並木に影響するわけで、しかし、並木の水というのは、天王台幹線の常磐線を超えるところが非常に狭くて、能力不足になっています。実は、並木には上流からの水は行かない。だから浸水はあまりひどくならないように変わっているわけですので、そういうところも含めて、しっかり開発の影響が並木に及ばないですんでいるということも含めて、ハザードマップの見直しをお願いしたいと思います。

市長：ありがとうございます。これからも治水課職員とまずは国交省と話をしながら、まず守らなければいけないのは、北新田に溜まった水が間違っても街中に入らないようにすることを一番大事にしています。また、今ご指摘の街中の内水について、排水できないというのはゲリラ豪雨によって、最近非常に厳しい降り方をされていて、時間降雨と言っていますけれども、実際には 30 分ほどなのですが、今まで我孫子で一番降った雨の量は 104 ミリですから、今年の 95 ミリよりもっと降ったときがあるのに、被害が出たのでちょっとショックな数字ですけれども、ただこれだけは知ってほしいのは、私が市長に就任したときよりも、ずいぶんと水害の被害は軽減しています。特に布佐地区は時間降雨 27 ミリで、床上浸水が出ていましたが、今は 48 ミリでも、一切床下浸水が出ない地域も実際には出来ているということです。調整池機能というものと、あと排水の確保というのは両方取りながら、最終的にはしっかりと外周の方に改修できるような流

れを作っていく必要があるというのは実感をしています。すぐ解決できる物ではないのが、治水対策であります。これからも着実に進めていきますので、またいろんな意見を頂戴できればと思います。よろしく願いいたします。